

## 安全データシート

作成日 2015年11月09日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : 業務用バスルック  
 会社名 : ライオン株式会社  
 住所 : 〒130-8544 東京都墨田区横網一丁目2番22号  
 担当部門 : 特販事業部  
 電話番号 : 03-3621-6527  
 F A X 番号 : 03-3621-6769  
 緊急連絡先 :  
 推奨用途及び使用上の制限 : 浴室用洗剤  
 整理番号 :

## 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響 :

G H S 分類

物理化学的危険性

爆発物 : 区分外  
 可燃性又は引火性ガス(化学的に不安定なガスを含む) : 分類対象外  
 エアゾール : 分類対象外  
 支燃性又は酸化性ガス : 分類対象外  
 高圧ガス : 分類対象外  
 引火性液体 : 区分外  
 可燃性固体 : 分類対象外  
 自己反応性化学品 : 分類対象外  
 自然発火性液体 : 区分外  
 自然発火性固体 : 分類対象外  
 自己発熱性化学品 : 分類できない  
 水反応可燃性化学品 : 区分外  
 酸化性液体 : 区分外  
 酸化性固体 : 分類対象外  
 有機過酸化物 : 分類対象外  
 金属腐食性物質 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外  
 急性毒性(経皮) : 分類できない  
 急性毒性(吸入:気体) : 分類できない  
 急性毒性(吸入:蒸気) : 分類できない  
 急性毒性(吸入:粉じん及びミスト) : 分類できない  
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 分類できない  
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 分類できない  
 呼吸器感作性 : 分類できない  
 皮膚感作性 : 分類できない  
 生殖細胞変異原性 : 分類できない  
 発がん性 : 分類できない  
 生殖毒性 : 分類できない  
 特定標的臓器毒性, 単回ばく露 : 分類できない  
 特定標的臓器毒性, 反復ばく露 : 分類できない  
 吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性) : 分類できない  
 水生環境有害性(長期間) : 分類できない  
 オゾン層への有害性 : 分類できない

G H S ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語  
危険有害性情報

GHS分類に基づく危険有害性情報はない。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
化学特性 : 中性洗剤

成分及び濃度

化学名	濃度 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	C A S 番号
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム	2.9%	3-1884	69669-44-9

4. 応急措置

吸入した場合 : 情報なし  
皮膚に付着した場合 : 水で十分に洗い流す。  
眼に入った場合 : こすらずに、すぐ水で十分に洗い流す。状況に応じ、医師の診断を受ける。  
飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水もしくは牛乳を飲ませる。状況に応じ、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂  
使ってはならない消火剤 : 情報なし  
特有の危険有害性 : 当該製品は分子中にN,Sを含有しているため燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系、硫黄酸化物系ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意すること。  
特有の消火方法 : 燃焼源の供給を速やかに止めること。  
消火作業は、風上から行うこと。  
関係者以外は安全な場所に退去させること。  
周囲の設備等に散水して冷却すること。  
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行うこと。  
消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用すること。消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避けること。燃焼又は高温により一酸化炭素、窒素酸化物系、硫黄酸化物系ガスが生成するので、呼吸保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 : 保護具、保護手袋を使用し、皮膚に付かないようにする。  
環境に対する注意事項 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。  
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意すること。  
封じ込め及び浄化の方法及び機械 : 少量の場合は、吸着剤(土・砂・乾燥砂、ウエス等)に吸着させ、密閉できる空容器に回収して取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取ること。  
大量の場合は、土砂等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理すること。スコップまたは吸引機などで空容器に回収すること。  
二次災害の防止策 : 漏出物の上をむやみに歩かないこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い  
技術的対策 (局所排気・全体換気等) : 換気のよい場所で使用する。必要に応じ局所排気装置や洗眼設備を設置する。状況により眼鏡、ゴム手袋、保護具等を着用して、目や皮膚を保護する。  
安全取扱注意事項 : ラベルの注意表示を参照する。  
情報なし

- 接触回避 : 技術的対策を参照。
- 保管  
 安全な保管条件(適切な技術対:換気のよい、直射日光の当たらない屋内に保管する。策,及び混触禁止物質との分離)  
 保管条件(適切な保管条件及び:密閉して、高温や低温を避け室内で保管する。避けるべき保管条件)  
 安全な容器包装材料(推奨材料:プラスチック、ガラスが使用できる。及び不適切材料)
8. ばく露防止及び保護措置  
 管理濃度 : 設定されていない。  
 許容濃度-日本産業衛生学会 : 設定されていない。(2012年度版)  
 許容濃度-ACGIH : 設定されていない。(2013年度版)  
 設備対策 : 局所排気装置および洗眼設備の設置が好ましい。  
 呼吸用保護具 : 保護マスク  
 手の保護具 : 保護手袋  
 眼の保護具 : 保護眼鏡  
 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、ゴム長靴等。
9. 物理的及び化学的性質  
 外観(物理的状态,形状,色など) : 透明の液体  
 臭い : 芳香がある  
 pH : 7.4~8.0(原液、25℃)  
 融点・凝固点 : 凝固点:0℃以下  
 沸点,初留点及び沸騰範囲 : 沸点:100℃以上  
 引火点 : 示さず。  
 燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : 情報なし  
 蒸気圧 : 情報なし  
 蒸気密度 : 情報なし  
 比重(相対密度) : 1.03g/cm<sup>3</sup>(20℃)  
 溶解度 : 水に任意に溶解する。  
 n-オクタノール/水分配係数 : 情報なし  
 自然発火温度 : 情報なし  
 分解温度 : 情報なし
10. 安定性及び反応性  
 反応性 : 情報なし  
 化学的安定性 : 通常取り扱い条件では安定  
 危険有害反応可能性 : 情報なし  
 避けるべき条件 : 異常な高温・低温、及び長期に渡る直射日光曝露を避けること。  
 混触危険物質 : 情報なし  
 危険有害な分解生成物 : 情報なし
11. 有害性情報  
 急性毒性(経口) : (製品のデータ)  
 LD50>2000mg/kg(急性毒性推定値)  
 (成分のデータ)  
 ジエチレングリコールモノブチルエーテル:LD50=5526mg/kg【EU Risk Assessment Report(1999)】  
 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸:LD50=1080mg/kg  
 【OECD SIDS※Initial Assessment Report For SIAM20(2005)】  
 ラウリン酸ナトリウム:LD50 > 2000 mg/kg, ミリスチン酸ナトリウム:LD50 > 2000 mg/kg  
 【HERA※ Fatty Acid Salts(2002)】  
 本剤の2.0%は毒性が未知の成分からなる。  
 急性毒性(経皮) : 情報なし  
 急性毒性(吸入:気体) : 情報なし  
 急性毒性(吸入:蒸気) : 情報なし  
 急性毒性(吸入:粉塵及びミスト) : 情報なし  
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 情報なし

- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 情報なし
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 情報なし
- 生殖細胞変異原性 : 情報なし
- 発がん性 : 情報なし
- 生殖毒性 : 情報なし
- 特定標的臓器毒性, 単回ばく露 : 情報なし
- 特定標的臓器毒性, 反復ばく露 : 情報なし
- 吸引性呼吸器有害性 : 情報なし
- 1 2. 環境影響情報
- 生態毒性 : 情報なし
- 残留性・分解性 : 情報なし
- 生体蓄積性 : 情報なし
- 土壤中の移動性 : 情報なし
- 他の有害影響 : 情報なし
- 1 3. 廃棄上の注意
- 残余廃棄物 : 内容物を廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し廃棄すること。
- 汚染容器及び包装 : 空の汚染容器包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し廃棄すること。
- 1 4. 輸送上の注意
- 国際規則 : 陸上輸送: RID(欧州危険物鉄道輸送規則)、ADR(欧州危険物道路輸送協定)に従う。  
海上輸送: IMDG(国際海上危険物規則)に従う。  
航空輸送: ICAO-TI(国際民間航空条約技術指針)/IATA-DGR(国際航空運送協会危険物規則)に従う。
- 国連番号 : 該当しない
- 国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 該当しない
- 特別の安全対策 : ・輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。  
・転倒、落下、損傷等がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
- 緊急時応急措置指針番号 : 該当しない
- 1 5. 適用法令
- 消防法 : 非危険物
- 労働安全衛生法 : 表示対象物、通知対象物に該当しない。
- 毒物及び劇物取締法 : 毒物・劇物に該当しない。
- 化学物質排出把握管理促進法 : 第一種指定化学物質(No. 30直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る)に該当する。
- 1 6. その他の情報
- 引用文献 : 1) OECD SIDS: OECD Screening Information DataSet, 経済協力開発機構  
2) HERA: Human & Environmental Risk Assessment on ingredients of European household cleaning products, 欧州化学工業会/欧州石鹼洗剤工業会
- その他 : 分類に用いたガイダンス名:  
・事業者向けGHS分類ガイダンス(平成21年度改訂版)(平成22年3月: 経済産業省)  
・JIS Z 7252:2009

## 「記載内容の取扱い」

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用下さい。